

山で遭難しないための発想の転換 「山岳遭難の教訓と事故要因」

トムラウシの大量遭難もまだ記憶に新しいなか、今年も痛ましいで遭難事故が相次いで起こってしまいました。日本山岳協会遭難対策常任委員の渡邊輝男氏より、様々な遭難事例について学び今後の教訓にしていきましょう。

■ 日 時：平成 24 年 11 月 18 日 (日)

受付 13:00 より

講演 13:30~16:00

(質疑応答含め 16:30 終了予定)

■ 会 場：高鼻コミュニティセンター 大会議室

さいたま市大宮区高鼻町 2-292-1 TEL: 048-644-3360

- ・東武野田線 北大宮、大宮公園駅からそれぞれ徒歩 10 分
- ・東武バス 大宮駅①乗り場から「導守循環(寿能回り)」ゆきにて大宮サッカー場前下車
- ・東武バス 大宮駅②乗り場から「第2住宅」ゆき または「吉野町車庫」ゆきにて大宮サッカー場前下車
- ・JR大宮駅東口より徒歩 20 分

■ 参加費：500 円

(当日、受付にてお支払ください)

■ 定 員：100 名 締切 先着順

■ 参加申込

クラブ単位で FAX またはメールにてお申し込みください。

労山会員以外の方は、住所・氏名・連絡先を下記申込先まで。

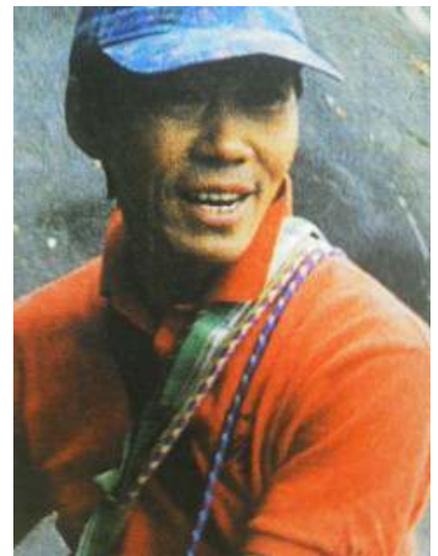
一次集約 10 月 26 日 (金) 最終集約 11 月 9 日 (金)

<申込先>

埼玉県勤労者山岳連盟事務局 木村哲也

FAX: 048-554-3429

E-mail: thtu2002@bb.knet.ne.jp



講師 渡邊輝男 (わたなべてるお) 氏

1956 年、新潟県生まれ。中学時代に登山を始め、大学生の時に「わらじの仲間」に入会。以後、沢登りとクライミング両面で活躍。東京都山岳連盟遭難対策委員長を務め、レスキュー技術の研究・普及活動にも積極的で、講習会などを行っている。共著に「山の遭難 生きた、還った」(東京新聞出版局)。日本山岳協会遭難対策常任委員、日本山岳レスキュー協議会幹事。